

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ビリニュス大学 (リトアニア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Economics and Business Administration		
報告書提出日	2019年9月25日		
留学予定期間	2019年8月～2020年1月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 60 (ユーロ) /合計

航空券代： 181950 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他（保険代）： 76556 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？200000 (円) /合計

2月下旬：派遣先大学へオンライン申請を行う。

5月中旬：寮に関する書類（リトアニア語で記載）とビザ申請のために必要な書類のチェックリストが送られてくる。

5月下旬：メンター、保険に関する情報と、Letter of acceptance が送られてくる。

また、LSIC (Lithuania student identify card) をオンラインで申請。保険を申請。

6月上旬：航空券を予約し、ビザのオンライン申請を行う。オンライン申請後、メールでリトアニア大使館へ面接を予約。（国際課からは、ビザ取得後に航空券の予約をするよう指示があったが、リトアニア派遣の場合、ビザ取得のためには往復の航空チケットの提出が必要であるため、航空券を先に取得する）

7月初旬：英文残高証明書（日本円表記）を発行。（ビザ申請用）

7月下旬：大使館にて面接。

8月中旬：ビザが通り、自宅にパスポートが送られてくる。

#### \* 困ったこと・トラブルなど

・航空券とビザ取得について、国際課からの話と実際の手続きが逆だったため混乱した。ビザ発行のためには往復航空チケットが必要なため、航空券の予約を完了した後に、ビザのオンライン申請を行う。

・LSIC カードについて、送られてきたメールでは、到着前に手続きを完了させておく必要があるとの記述があったが、発行するにはリトアニアの銀行口座から6ユーロの支払い（または国際送金での支払い）をする必要があったためメンターに聞いたところ、到着後の支払いでも問題ないとのことだったので、オンライン上での申請だけ済ませ、支払いは行わなかった。

・ビザの面接は英語で雑談（なぜリトアニアを選んだのか、何を勉強するのかなど）する程度だったので、特に緊張することもなく終わった。

## 1.2. 渡航について

実家に帰省していたため、新千歳—成田—ヘルシンキービリニュスと2度乗り継ぎを行った。ビリニュス空港にはメンターが迎えに来てくれていたので、彼の兄の車で寮まで向かった。（車で20分程）

### \*困ったこと・トラブルなど

- ・成田—ヘルシンキー間で遅れが生じ、乗り換え時間が15分程度しかなくなってしまったためとても焦ったが、無事にビリニュス行きの飛行機に乗ることができた。
- ・到着後、乗り継ぎ時間が非常に短かったため、ロストバゲッジに遭ってしまい、キャリーケースが一つしか届かないというトラブルに見舞われた。荷物カウンターで手続きを行い、翌日に寮に届けてもらった。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

メンターがすでに鍵を持っていたので、そのまま部屋に案内された。

寮に関する契約書をルームメイトから受け取り、入寮後に寮のオフィスへ提出しに行った。

契約書提出の際に、家賃やデポジットなどの説明を受けた。私は家賃を支払う必要がないため（学校間協定の関係で）60ユーロのデポジットの支払い手続きについてのみ説明を受けた。

オフィスでデポジット支払い用の紙を受け取り、それを持って近くのスーパーにて現金で支払った。手数料は0.6ユーロ。

### \*気付き

- ・部屋は3人部屋（到着するまで、何人部屋か・ルームメイトはどんな人かなどわからなかった。）
- ・トイレ・洗面所は5人でシェア（隣の部屋に住んでいる2人の男子とシェア）
- ・キッチン(2箇所)・シャワー（3箇所）は同じフロアの人（40人程度）とシェア
- ・寮にエレベーターが無いので到着後、キャリーケースを上まで運ぶのが大変だった。
- ・寝具一式は揃っているがそれ以外（食器など生活に必要なもの）は何もない。

### 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

日本でビザ発行を済ませたため、到着後の手続きはない。

### 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8月30日 オリエンテーション1日目：受付を済ませ、ホールで履修登録やサークルについて、リトアニアについてなどの説明を受けた。

～9月4日まで、バディと共にビリニュスツアーや、大学案内、図書館ツアーなどが行われた。その他、履修に関して学部のコーディネーターからの説明を受けた。

9月13日まで：履修登録用紙を International Relations Office (IRO)へ提出

9月5日：授業開始

### 3. 目標について

#### 3.1. 留学の目的、達成目標

- ・BSAP での反省を生かして、日本人が1人という環境、誰も知り合いがない環境からのスタートで自分がどれだけ通用するのか実力を試したい。
- ・大学卒業までに英検準1級取得のため、滞在中は英語学習をコンスタントに続けていく。
- ・ゼミの研究で、各国の価値観の違いを比較したい。

#### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

- ・派遣が決まるまでは、TOEFLの学習に特に力を入れた。
- ・派遣決定後は、リトアニア語の勉強を少しずつ始めた。
- ・また、海外映画や海外ドラマを見て、英語の音に慣れる練習と表現の仕方を学んだ。
- ・中級英語のSAで、英会話での会話の広げ方を意識しながら取り組んだ。

#### 3.3. 今月の学習・研修目標

- ・今月は授業が始まったばかりなので、とにかく授業についていけるように予習復習をしっかりと行う。
- ・グループトークでのリスニングと英会話に課題を感じているので、自分から積極的に話題作りに励む。
- ・リトアニア語の学習も計画的に行なっていきたいので、1日一回以上リスニング（日本から持ってきたリトアニア語の教材のCD）をする。

### 4. 学修について

#### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前	学期
月	Lithuanian Language I/III p.A1(15:00-16:30)	
火	Marketing(Lecture)(14:00-16:00) Marketing(Seminer/隔週)(16:00-18:00)	
水	Lithuanian Language I/III p.A1(15:00-16:30)	
木	Management(Lecture)10:00-12:00) Management(Seminer/隔週)(12:00-14:00) Lithuanian Language I/III p.A1(15:00-16:30)	
金		
土		
日		

#### 4.2. 授業について

##### Lithuanian Language I/III p.A1 (90分/1コマ) (3コマ/週)

- ・OLD TOWNにある本キャンパスで開講されており、Faculty of Philologyの授業（私は経済学部所属だが、所属外の授業履修も可能。）
- ・留学生向けのリトアニア語の授業で、教科書が配布される
- ・リトアニア語独特の発音が難しいが、担当の先生がしっかりと直してくれる。
- ・文法が難しく、単語も馴染みのないものばかりなので復習が必須。
- ・習ったリトアニア語をスーパーやレストランで使うのが楽しい。
- ・毎日課題が出るが量は多く無い。
- ・評価は出席/課題（20%）・中間テスト（30%）・期末テスト（50%）

##### Marketing (Lecture 120分/コマ 1コマ/週) (Seminar 120分/コマ 隔週)

- ・4Pを中心に、マーケティングについて学ぶ。
- ・レクチャーでは、授業スライドをもとに先生の解説を聞く。
- ・授業中パソコンを開くことが禁止されているのでスライドを印刷するか、パワポが見やすい位置に座る必要がある。
- ・セミナーはグループワーク（1グループ5人程度）
- ・セミナーではグループで企業を一つ選び、レクチャーで学習した内容をもとにプレゼンを行う。
- ・評価はグループでのプレゼン（30%）・中間テスト（30%）・期末テスト（40%）

##### Management (Lecture 120分/コマ 1コマ/週) (Seminar 120分/コマ 隔週)

- ・企業の経営について、意思決定や組織について学ぶ。
- ・レクチャーは主にオンライン上にアップロードされている授業資料（スライド）をもとに先生の説明を聞く。先生から質問が与えられ、近くに座った人たちで話し合いの時間もある。
- ・先生の英語がロシア訛り（？）でたまに聞きづらい時がある。
- ・セミナーでは決められたテーマに沿ってグループごとに企業を一つ選び、そのテーマに沿ったプレゼンを行う（各グループ5人程度）その後、そのプレゼンをもとにクラスで話し合いや先生の説明、解説などが行われる。
- ・評価は中間テスト（30%）・レポート課題（20%）・期末テスト（30%）・プレゼン（20%）

#### 4.3. 予習・復習・自習について

##### Lithuanian Language

- ・授業で出される課題を必ず行う。
- ・授業終わりに一緒にリトアニア語を受けている韓国人留学生（ルームメイトでもある）と習った表現で会話をしたり、その日の授業の復習をする。

##### Marketing

- ・主にグループワークでセミナーの準備（プレゼン用意）を行う。
- ・授業前に前回のスライドの復習・今回の授業範囲の確認（わからない単語をあらかじめ調べる）などする。

##### Management

- ・Marketing同様、グループワークが中心。
- ・スライドの確認も同様に行なっている。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<ul style="list-style-type: none"><li>・時差は6時間（サマータイムが終わったら7時間）だが、時差ボケはあまりなかった。</li><li>・食事も日本人に馴染みやすい味のものが多いように感じる。</li><li>・現地に到着後、SIMカードをすぐに手に入れることができず、寮のwi-fiも契約していなかったためSIMカードを入手するまで、連絡（特に家族・大学への到着報告）が大変だった。</li><li>・キッチンに共有の冷蔵庫があるが、スーパーでの購入品を入れておいたところ、翌朝には全て盗まれてしまったので、寮の治安はあまり良いとは言えない。</li><li>・また、他の日本人留学生から部屋に置いていた AirPods を盗まれたという話も聞いたので貴重品の管理は徹底して行う必要がある。</li><li>・街中での治安の悪さは感じたことはなく、夜でも比較的安全のように感じる。</li></ul>	

### 5.2. 課外活動について

<ul style="list-style-type: none"><li>・休日は主にルームメイトとバディと一緒にビリニュスの街を観光したり、バスで観光都市へ行ったりして過ごしている。</li><li>・今後は大学のキャリアセンターが実施している smart internship というグループで企業の課題を解決するインターンシップに挑戦する予定。</li><li>・月曜日と水曜日の放課後はバレーボールクラブに所属予定。</li></ul>
---

### 5.3. 現在までの感想

<ul style="list-style-type: none"><li>・共同生活で、プライベート空間が全く無いことや、日本との時差で、家族や友人と連絡がうまく取れないことで多少のストレスを感じることもあるが、図書館へ行ったり、買い物をしたり、1人の時間をうまく作ることでストレス発散している。</li><li>・英語に関しては、1対1の会話は楽しくできることが多いが、グループトークになるとうまく会話の輪に入ることができず（リスニングのスピードについていくのが大変・自分が言いたいことがすぐにまとまらずに次の話題になっていることが原因）みんなの話を聞くだけになってしまっている。今後の課題は、グループトークでも楽しめるように会話のスピードに慣れること、自分も会話の輪の中に入っていく努力をすることである。</li></ul>
---

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11 月)

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ビリニュス大学 (リトアニア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Economics and Business Administration		
報告書提出日	2019 年 11 月 19 日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

- ・ BSAP での反省を生かして、日本人が 1 人という環境、誰も知り合いがない環境からのスタートで自分がどれだけ通用するのか実力を試したい。
- ・ 大学卒業までに英検準 1 級取得のため、滞在中は英語学習をコンスタントに続けていく。
- ・ ゼミの研究で、各国の価値観の違いを比較したい。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

(10 月目標) 今月は授業が始まったばかりなので、とにかく授業についていけるように予習復習をしっかりと行う。

→リトアニア語の授業は復習が必須のため、毎日勉強をした。その他の経営系の授業に関しては、グループワークのプロジェクトを中心に学習をすすめた。

(10 月目標) グループトークでのリスニングと英会話に課題を感じているので、自分から積極的に話題作りに励む。

→授業でのグループワーク、グループインターンシップでの活動、日々の日常会話など、自らグループトークの場に足を運ぶように心がけた。

(10 月目標) リトアニア語の学習も計画的に行なっていきたいので、1 日一回以上リスニング (日本から持ってきたリトアニア語の教材の CD) をする。

→日本から持ってきた教材ではなく、授業で扱っている教科書をもとに学習を進めている。リスニングは時間があるときにと後回しにしてしまいがちなので、継続して学習を続けたい。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

- ・ ゼミの研究 (卒論研究) に力を入れる (アンケート実施準備を開始する)
- ・ 期末テストに向けて、準備を始める。
- ・ リトアニア語を毎日使う

## 2. 学修について

### 2.1. 授業について

#### Lithuanian Language I/III p.A1 (90分/1コマ) (3コマ/週)

- ・1～2週間かけて一つの単元をこなしていく。
- ・毎日テキストから主に文法に関する課題が出される。
- ・一単元終わるごとに、その単元で学んだ文法や単語を使い、自分の国に関するテーマでエッセイを書く課題が出される。(例文に沿って作成する)
- ・10月下旬に中間テストが実施された。
- ・中間テストの範囲は、リスニング、ライティング、文法など
- ・9割程度理解している

#### Marketing (Lecture 120分/コマ 1コマ/週) (Seminer 120分/コマ 隔週)

- ・10月下旬に中間テストが行われた。
- ・範囲は12Pや広告とPRの違いなど。5問出題され、すべて筆記での回答だった。
- ・授業進度は一つのスライド(15ページ程度)を90分で解説していく。
- ・こちらもテスト前にスライドを復習すれば難しい授業ではない。

#### Management (Lecture 120分/コマ 1コマ/週) (Seminer 120分/コマ 隔週)

- ・10月下旬に中間テストが行われた。
- ・全40問の4択でオンラインでの受験。
- ・先生が作成した問題ではなく、教科書会社が作成した問題のため、教科書をくまなく読む必要があると感じた。
- ・テスト範囲はトピック1からトピック7までで、教科書200ページ分ほど。スライドも1トピック30ページ以上あるので、計画的に勉強する必要があると感じた。
- ・また、経営に関する英単語など、馴染みのない単語も出てくるので、継続的に勉強していく必要がある。
- ・内容は企業経営者の意思決定に関する手順や、経営管理についてなど

### 2.2. 予習・復習・自習について

#### Lithuanian Language

- ・授業で出された課題は必ず提出する。
- ・次の単元に入る前に単語を予習しておく

#### Marketing

- ・隔週で行われるセミナーでのグループプレゼンの準備
- ・テスト前に授業スライドの振り返りと授業ノートの確認

#### Management

- ・グループプレゼンの準備
- ・テスト前に授業スライドの振り返りとオンラインテキストの復習。模擬テストの受験。

### 2.3. 語学力について

- ・ルームメイトからは、到着当初より、英語がわかりやすくなったと言われた。
- ・しかし、RとLの発音に苦戦することが多い。

- ・友達に、私の発音がおかしい時は直してもらおうように頼んでいる。
- ・長い文章で説明しようとすると言葉に詰まったり、咄嗟に出た英語の文法が間違っていることがあるので、より文法事項に意識しながら話すように心がける。

### 3. 生活について

#### 3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>3人1ルームの部屋に住んでいる。ルームメイトはアゼルバイジャン人と韓国人。ルームメイトとの関係は良好だが、プライベート空間がないので適度なストレス発散は必要。シャワー・キッチンフロア全員と共有。トイレは隣の部屋の男子2人と共有。シャワー・キッチン・トイレは綺麗とは言えない。我慢して使用している。キッチンにある、冷蔵庫に食料を入れていると盗まれるので使っていない。勉強をするための共有スペースなどがなくて、テスト前などは図書館まで行く必要がある。キッチンが共同のため、汚いので、自炊をしたいと思えない。そのため近くのスーパーでお惣菜を買ったり、図書館に併設されたカフェで食事をする事が多い。気候については、現地人によると今年は例年より暖かい年ようだ。北海道と同じくらいの気温である。日本から持参した、ヒートテックは重宝している。</p>	

#### 3.2. 課外活動について

<p>企業の課題を解決する、スマートインターンシップと言うビリニュス大学のキャリアセンターが運営しているインターンに参加している。週一でグループワークがある。また、週一でバレーボールサークルの活動に参加。先月は、韓国人・スペイン人・ポーランド人とエストニア・ラトビアへ旅行へ行った。週末は現地の友達に、リトアニアの他の都市を案内してもらったり、映画を見に行ったりして過ごしている。</p>
--

#### 3.3. 現在までの感想

<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはりプライベート空間が一切なく、全ての行動が誰かに見られているというのは今までにないことなので、ストレスと感ずることがある。</li> <li>・また、ルームメイトとの生活リズムのずれから、私が先に寝ていてもルームメイトの生活音で目が覚めてしまうこともある。しかしこれは共同生活をしている上で仕方がないことだと受け止めている。</li> <li>・日本の同級生が就活をしている（インターンに参加したり）様子を見て、多少の焦りを感じているが、自己分析や企業研究など、遠隔でもできることを進めていきたい。</li> </ul>
--

以上



## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経営学部	学 科	国際経営学科	3	年次
派遣先大学 (国)	ビリニュス大学 (リトアニア)				
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Economics and Business Administration	履修言語	英語		
留学期間	2019年8月～2020年1月				
報告書提出日	2020年1月20日				

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	8月30日 ～12月23日 (14週)	1月4日 ～1月26日	事前にオンラインで履修したい科目を登録する。その後、オリエンテーションなどに参加し、当初の履修科目と変更する場合は、アドバイザーからの許可とサインをもらう。変更しない場合は、そのままサインだけもらい、国際課に提出。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Lithuanian Language A1 I/III	63時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OLD TOWN にある本キャンパスで開講されており、Faculty of Philology の授業（私は経済学部所属だが、所属外の授業履修も可能。）</li> <li>・ 留学生向けのリトアニア語の授業で、教科書が配布される</li> <li>・ リトアニア語独特の発音が難しいが、担当の先生がしっかりと直してくれる。</li> <li>・ 文法が難しく、単語も馴染みのないものばかりなので復習が必須。</li> </ul>
		1.5(時間/回) × 3(回/週) × 14(週)	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・習ったロシア語をスーパーやレストランで使うのが楽しい。</li> <li>・毎日課題が出るが、量は多くない。</li> <li>・評価は出席/課題（20%）・中間テスト（30%）・期末テスト（50%）</li> </ul>
Fall Semester	Management	42時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の経営について、意思決定や組織について学ぶ。</li> <li>・レクチャーは主にオンライン上にアップロードされている授業資料（スライド）をもとに先生の説明を聞く。先生から質問が与えられ、近くに座った人たちとの話し合いの時間もある。</li> <li>・先生の英語がロシア訛り（？）でたまに聞きづらい時がある。</li> <li>・セミナーでは決められたテーマに沿ってグループごとに企業を一つ選び、そのテーマに沿ったプレゼンを行う（各グループ5人程度）その後、そのプレゼンをもとに、クラスで話し合いや先生の説明、解説などが行われる。</li> <li>・評価は中間テスト（30%）・レポート課題（20%）・期末テスト（30%）・プレゼン（20%）</li> </ul>
		2(時間/回) × 1.5(回/週) × 14(週)	
Fall Semester	Marketing	42時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4Pを中心に、マーケティングについて学ぶ。</li> <li>・レクチャーでは、授業スライドをもとに先生の解説を聞く。</li> <li>・授業中パソコンを開くことが禁止されているので、スライドを印刷するか、パワポが見やすい位置に座る必要がある。</li> <li>・セミナーはグループワーク（1グループ5人程度）</li> <li>・セミナーではグループで企業を一つ選び、レクチャーで学習した内容をもとにプレゼンを行う。</li> <li>・評価はグループでのプレゼン（30%）・中間テスト（30%）・期末テスト（40%）</li> </ul>
		2(時間/回) × 1.5(回/週) × 14(週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

授業で出された課題は必ず期日までに提出していた。期日前に終わらせて、同じグループの友人に確認することもあった。また、単語が分からず授業でわからなくなると、そのあとも授業についていけなくなってしまうので、予習は与えられたスライドを見て、わからない単語の意味などを調べてから授業に挑んだ。毎回の復習は、主にグループワークを通じて行っていた。授業で習った範囲をプレゼンやレポートで提出する授業が多かったため、グループメイトと協力して行った。テスト前は、出題範囲のスライドを総復習するなどしてテストに挑んだ。

#### 1.4. 語学力について

ルームメイトも外国人だったことや、現地で日本人コミュニティにあまり参加しなかったことで、常に英語で考えることができていた。ふとした瞬間に出る言葉も、無意識に英語で言えるようになったのは成長の証だと思う。到着当初は、うまく言いたいことが伝えられず、会話に参加することができないこともあったが、帰国前になると、集団で話していても話についていけるようになっていたので、この点においても成長を感じた。留学中はリーディングよりもとにかくスピーキングとリスニングに力を入れた。映画を見る時も、他の留学生と見るときは日本語字幕を使えないので、英語字幕で見るなど、意識的に英語を使うように心がけた。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

**Lithuanian Language I /III p.A1 :** リトアニア語の基礎を単語、文法、会話などテーマごとにこなしていく。発音や文法事項、全てが英語とも日本語とも似ても似付かないので学習には非常に苦労したが、生活していく中で、理解できるリトアニア語が増えると達成感を感じられた。

**Marketing:** 4Pを中心に教授が作成したスライドをもとに授業が進められていく。その授業をもとに隔週でグループプレゼンテーションを行うが、そのグループワークが特にためになった。自分のパートだけでなく他の人のパートにも意見をしたり、非常に活発にグループワークが行われたため、多くの意見を得ることができた。

**Management:** 企業の経営について、リーダーシップや経営のピラミッドなど、オンラインテキストをもとに学習した。この授業も隔週でグループプレゼンテーションがあり、自分たちで選んだ企業の経営方針などを調べ発表した。特に、日本の終身雇用制度や年功序列賃金に関してクラス全体で意見交換会を行った際の他の留学生からの意見が非常に印象的だった。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

**Lithuanian Language I /III p.A1 :** リトアニア語の授業では、生活に役立つことをたくさん学ぶことができたので履修してよかったと思う。例えば、食事に関する単語やフレーズを学習した後は、レストランやスーパーでの買い物非常に楽になった。また、習ったリトアニア語を使ってリトアニア人と会話できたときは、達成感を得ることができた。

**Marketing:** 中間テストとプレゼンテーションも大切だが、期末テストの割合が重いので最後まで集中して勉強を続けるべきだった。

**Management:** テスト勉強はスライドよりも教科書中心に行う方が、わかりやすく説明してある。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

留学中は自分のコミュニティを広げるために積極的に様々な場所へ足を運んだ。色々なことに挑戦するという意味では、長期インターンシップやバレーボールサークルでの活動、海外旅行を含め、自分が成長できる場所に飛び込むことができたと思う。

自分がまだ知らないことに度胸を持って挑戦することができるようになったことはこの留学生活で得られた最大の成果である。

### 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

『衣』… 秋派遣だったこともあり、ジャケットやブーツなど嵩張る衣類を多く持って行ったが、現地でも買えるため、多くを持つ必要はない。荷物は少なく済ませる方が良い。寮にエレベーターがないため、重たいキャリーケースを4階まで階段で運ぶのはとても大変だった。また非常に寒いイメージだったので半袖など夏服を持って行かなかったが、到着した8月下旬から9月上旬は25度前後だったため薄着もある程度は必要だった。

『食』… リトアニア料理は日本人の舌にも合うような優しい味付けのものが多くあるので、特筆することはない。強いていうなら、寮のキッチン環境は決して良いとは言えない。(冷蔵庫の中に入れたものは盗まれて当然と思った方がよい。)したがって、自炊をするのであればパスタや手軽にできるものが中心となるだろう。

『住』前述したとおり、寮は決して住みやすいとは言えない。エレベーター無し、シャワー・キッチンはフロアに住む全員とシェア、トイレは隣の部屋に住む隣人(同性とは限らない)とシェア。共有場所の掃除も毎日行われるわけではないので週末などは非常に汚い時もある。だが期限が決まっている留学と考えれば乗り越えられる。住環境以上に、他の国からきた留学生との交流が楽しいと思えば、すぐに慣れるだろう。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月13日

所 属	経営学部	国際経営学科	3 年次
派遣先大学	ヴィリニウス大学		5 ヶ月間

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	住居形態の詳細を教えてください。	(韓国人・アゼルバイジャン人との3人部屋。シャワー、キッチンがフロアで共有。トイレは隣の2人部屋の住人と5人で共有。部屋はベッドが3つと机が1つ、椅子が2脚でクローゼットが3つ。決して広いとは言えず、個人の勉強机などはない。)
3	入居時手続き	(バディーから鍵と契約書を受け取った。入居2週間以内にサイン済みの契約書をオフィスへ提出。その際にデポジット支払い用紙を貰うので、近所のスーパーで支払いを済ませた。(60ユーロ))
4	費用(月額)	0(円)(食費 食費含まない/月)
5	支払方法	支払い無し
6	住居に附属する設備	<input type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ( )
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ( )
8	周囲環境	(徒歩10分程度の所にスーパーマーケット有。バス停までは徒歩7分程度。近くにピザ屋さん、ケバブ屋さん、アジア料理の店がある。)
9	アクセス	(旧市街にあるキャンパスへ行くにはバスに乗り30分程度かかる。寮から徒歩15分程度の距離にもキャンパスがある。(経済、経営系の授業は寮から近いキャンパスで行われている。)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(共有キッチンの冷蔵庫はよく食べ物が盗まれたり、鍵を開けたまま外出すると泥棒が入ったなどの話をよく聞くので、危機管理は常にしておくべき。しかし、住民は皆学生なので、すぐに意気投合できるなど、学校寮ならではの楽しみもある。)

### II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(バディーから無料のSIMカードを受け取った。10ユーロ/月で無制限インターネットのプランを使った。)
4	自宅のインターネット 接続環境	利用しなかった
5	大学内インターネット 接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)

### III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	0（ユーロ）/月
2	食費	400（ユーロ）/月
3	交通費	5.8（ユーロ）/月
4	通信費	10（ユーロ）/月
5	娯楽費	200（ユーロ）/月
6	図書費	30（ユーロ）/合計
7	学用品（教科書など）	0（ユーロ）/合計
8	被服費	100（ユーロ）/合計
9	医療費	（通貨入力）/合計
10	雑費・その他	100（ユーロ）/合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	0（ユーロ）/合計
12	ビザ申請関連費	0（ユーロ）/合計
13	航空券代 （休暇時旅行費用は除く）	18万（円）/往復
14	その他	（通貨入力）/合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	75万（円）/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：1万円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：ジャパンネット銀行） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	<p>現地大学から奨学金を受け取るために開設した。国際化から、口座開設に必要な書類を受け取り、指定された銀行窓口で開設手続きを行った。その後キャッシュカードが3日程で寮に届き、インターネットでアクティベートした。利点としては、どこの店もカード決済（タッチ支払い）なので、支払いが非常に楽になった。欠点は、授業の合間を縫って、口座開設に行かなければならず、早朝に受付をしないと、長時間待つことになる。</p>
19	お金に関するアドバイス	<p>自炊をすれば、月7万円の奨学金で足りるかと思いません。ですが、滞在中に旅行などするのであれば、奨学金内で収めることは難しいです。また、寮には食器やキッチン用品など揃っていないため、初期費用は多めに見積もっておく必要があると思います。</p>

### IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 （5か月分で72000円）
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	どのような方法で適用を受けましたか？	立替の上、後日返金

## V. 持ち物について

### 1 日本から持っていったもの

洋服・洗面道具・薬・カップラーメンなどの日本食・生理用品・英語のテキスト・PCなどの電子機器

### 2 現地で購入したもの

毛布・食器・調理器具・掃除道具・シャンプーなどの洗面道具

### 3 (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの

特になし

## VI. 留学先で困ったこと

特になし

## VII. その他、後続の学生へのアドバイス

到着後のイメージを具体的に持っているのと、焦らなくて済むかと思います。例えば、到着後すぐに現地でケータイが使えるのと使えないのでは安心感も大きく変わってくるので、不安に思うことや疑問点は、バディや過去に派遣されていた先輩などに恥ずかしがらずに聞くべきだと思いました。